

# 防災行動力の向上

## ？ なぜこの事業を行っているのですか？

実際に大災害が起きてしまった場合には、まず落ち着いて避難し、自分の身の安全を確保すること（自助）が大切です。次に、周りの状況を把握し、助けを求めている人がいれば、近所の人と力を合わせていく必要があります（共助）。

そのためには、区民の皆さんが日頃から防災訓練などに参加して、常に防災意識を持つとともに、災害時には自ら対応できる行動力を身につけておかなければなりません。

区では、警察署や消防署などと連携して、地域へのバックアップ体制を整えると共に、区民の皆さんの生命、身体及び財産を守るため、「災害に強い台東区」の実現に向けた取り組みを進めています（公助）。

## ？ どのようなことを行っていますか？

### ●総合防災訓練（年1回）

大規模災害により台東区内でも相当の被害が発生したことを想定し、地区町会連合会や台東区及び防災関係機関との合同による訓練を実施します。

### ●避難所単位防災訓練（年6～12回）

町会の方々を中心として、避難所【[解説①](#)】の開設・運営等に関する訓練を行い、同じ避難所に避難する予定の方々との連携を深め、行動体制の確立を図っています。



総合防災訓練の様子

### ●防災指導者講習会（年1回）

町会や住民防災組織【[解説②](#)】の中で、指導的な役割をしていただく方などを対象に、防災の基本的な知識・行動力及び指導力の育成を目的に行う講習会です。平成23年度は宮城県大崎市の方々をお招きし、東日本大震災時の体験談を語っていただきました。

### ●防災フェア（年1回）

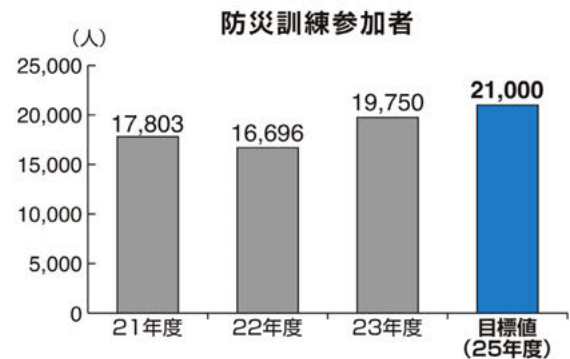
参加団体の防災パネル、災害用備蓄品の展示や起震車による地震体験、防災クイズラリーなど、楽しみながら防災について学べる場です。平成24年度は、平成25年3月10・11日に生涯学習センターで開催予定です。

## ？ 事業の進み具合はどうか？

平成23年度の総合防災訓練は、上野・金杉地区連合町会を中心に、32町会・39機関で総勢1,974名の方に参加いただき実施しました。

当日は、上野公園内正岡子規記念球場などで31項目の訓練を行い、参加者から「いろいろな体験をして、災害時にどう行動すべきか真剣に考えるきっかけになった。」という声を多数いただきました。

その他、区内の各地域での訓練にも、多くの方が参加しています。



(資料：災害対策課)

## ？ 今後はどのように取り組んでいくのですか？

東日本大震災の経験を踏まえ、実際の災害発生時に防災訓練の成果を活かせるよう、平成24年度からは避難所単位防災訓練の実施回数を増やします。

また、帰宅困難者対策や避難所運営といった事業にも、よりいっそう力を入れていきます。

このような取り組みを通して、1人でも多くの区民の皆さんに災害時の一時集合場所【[解説③](#)】や避難所などを確認してもらいたいと思います。そして、何よりも災害時には自助・共助の意識が大切だということを伝えていきます。

### ■この事業に関するお問合せは■

危機管理室災害対策課

03-5246-1093

### 【解説】

#### ①避難所

災害によって、住んでいる家が倒れたり燃えたりしてしまった人達などを受け入れ、宿泊や給食等の救援を行う施設です。台東区では、区立小・中学校や都立高校、区施設を避難所として指定しています。

#### ②住民防災組織

防災団ともいい、災害時に被害を最小限に食い止めるため、地域住民により町会ごとに組織されたものです。主な活動としては初期消火や救出救護、避難誘導などを行います。

#### ③一時集合場所(いつときしゅうごうばしょ)

発災時に町会単位で一時的に集まるための場所で、公園や学校等がこの一時集合場所として指定されています。ここで近所の方々の安否を確認し、必要であれば、その後避難所に移動します。